

都市再生整備計画 事後評価シート

とし きよてんしゅうへんちく
都市拠点周辺地区

令和4年2月

愛知県東海市

評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	東海市	地区名	都市拠点周辺地区			面積	76.5ha
交付期間	平成30年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	0.0	国費率	0.00		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 —						
		提案事業	—						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(御浜公園)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		基幹事業	高質空間形成施設(電線類地中化事業)	市の事業精査により、事業内容や実施時期の見直しが行われたため、基幹事業から関連事業へ事業の位置付けを変更			関連事業への変更のため、指標への影響なし		
		提案事業	—	—			—		
	新たに追加した事業	基幹事業	—	—			—		
提案事業		—	—			—			
交付期間の変更	当初	H30～H33	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		事業期間変更のため、指標への影響はない。				
	変更	H30～R3							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	地区内の人口密度	人/ha	55.4	H29	67.0	R3	-	62.9 (推計値)	△	あり なし ●	東海太田川駅周辺土地区画整理事業により、駅周辺の基盤整備は進捗しているが、新築着工の進捗が期待するペースではなく、人口密度の目標値達成まで至らなかったことが考えられる。	令和4年7月
指標2	健康寿命	歳	男性:79.45 女性:82.69	H27	男性:79.93 女性:83.84	R3	-	男性:80.65 女性:84.25 (推計値)	○	あり なし ●	太田川駅の駅東歩道を始めとした歩道整備や大田川沿いのエコプロムナード整備事業等により、市民が過度に車に頼ることなく、歩行者・自転車ネットワークの利用促進が図られ、この結果、市民の健康寿命の延伸に寄与できたと考えられる。	令和4年7月
指標3	イベント開催回数	回	117	H28	144	R3	-	80 (見込み)	×	あり なし ●	太田川駅周辺の基盤整備による利便性の向上が図られ、にぎわいが創出されつつあったが、目標は未達成であり、令和2年以降において、新型コロナウイルス感染症への対策としてイベント開催が制限されたことが要因と考えられる。	令和4年7月

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	企画されたイベントの種類	件	61	H28	/	/	/	81	/	/	太田川駅周辺の基盤整備による利便性の向上が図られ、様々な主催団体によって従前よりも多様なイベントが企画されており、駅周辺におけるにぎわい創出の気運が高まっている。	—
その他の数値指標2	住環境が整備され快適な生活が確保されていると思う人の割合	%	63.2	H28	/	/	/	66.4	/	/	東海太田川駅周辺土地区画整理事業や、大田川沿いのエコプロムナード整備事業等により、住環境の整備は進捗しており、快適な生活が確保されていると思う人の割合は増えている。	令和4年7月


4)定性的な効果発現状況
 ・太田川駅周辺では、電線類地中化により市の玄関口にふさわしい景観が整備され、防災性の向上や交通の円滑化が図られた。

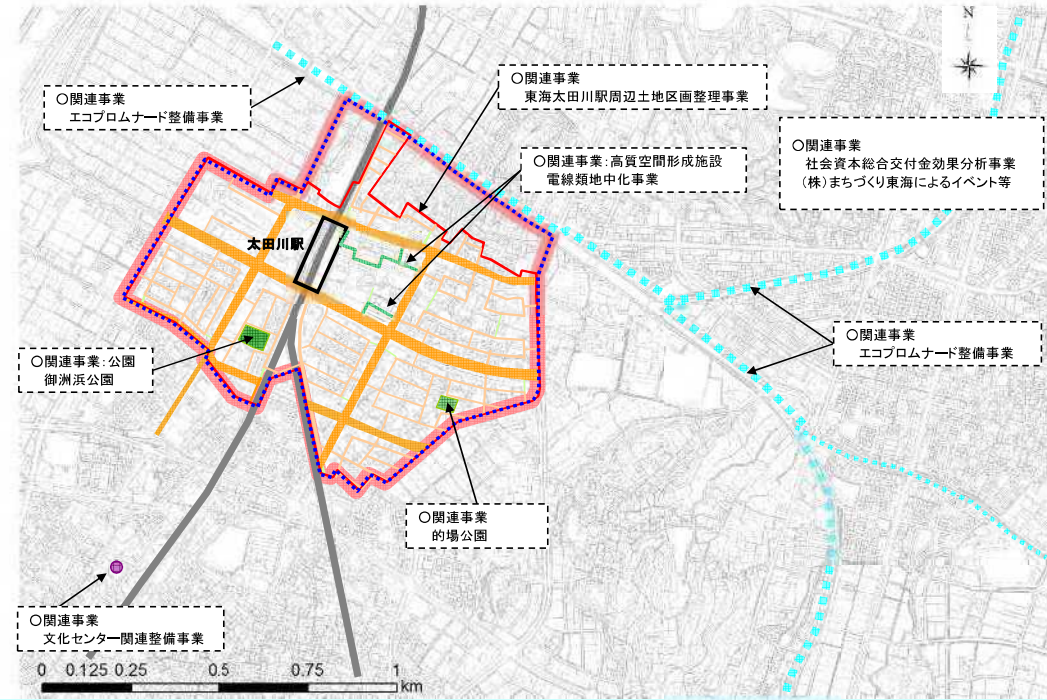
5)実施過程の評価		実施内容		実施状況	
モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた	—
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
住民参加プロセス	「太田川駅周辺地区まちづくりニュース」の定期的な発行により、事業の進捗状況、事業完了までの流れを説明し、住民への情報発信を行った。また、文化センターの整備に係る説明会を開催し、要望事項について基本設計の中で検討を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた ●	今後も定期的に事業の進捗状況を住民に周知し、まちづくりへの理解と協力を促進する。
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
持続的なまちづくり体制の構築	定期的な地区内の公園等の清掃活動の実施、太田川駅東歩道「ランの道づくり」植栽会の開催等、まちの維持管理活動への住民参加を促進した。また、都市再生推進法人である㈱まちづくり東海と協力して、駅周辺でのオープンカフェ等の官民連携によるにぎわいづくりイベントを実施した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた ●	今後も引き続き、まちづくり団体と連携して、公園等の清掃や花壇の手入れ等への継続した住民参加をさらに促すとともに、オープンカフェの魅力を向上し、回遊性と滞留によるにぎわいの創出を図る。
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	

地区の概要

都市拠点周辺地区(愛知県東海市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
目標 東海市の玄関口にふさわしい持続可能なにぎわい創出に向けた都市拠点の形成 ・駅前を中心とした、コンパクトな都市環境の形成 ・健康で快適に暮らせる、人と環境にやさしい都市空間の形成 ・持続可能なにぎわい創出に向けた景観に配慮したまちの形成	地区内の人口密度	人/ha	55.4	H29	67.0	R3	62.9(推計値)	R3	
	健康寿命	歳	男性:79.45 女性:82.69	H27	男性:79.93 女性:83.84	R3	男性:80.65(推計値) 女性:84.25(推計値)	R3	
	イベント開催回数	回	117	H28	144	R3	80(見込み)	R3	

東海太田川駅周辺土地区画整理事業





○関連事業
エコプロムナード整備事業

○関連事業
東海太田川駅周辺土地区画整理事業

○関連事業:高質空間形成施設
電線類地中化事業

○関連事業
社会資本総合交付金効果分析事業
(株)まちづくり東海によるイベント等


○関連事業
公園
御洲浜公園

○関連事業
的場公園

○関連事業
文化センター関連整備事業

0 0.125 0.25 0.5 0.75 1 km

エコプロムナード整備事業



都市機能誘導区域
 都市拠点周辺地区
 A=76.5ha
 エコプロムナード

凡例	
	基幹事業
	関連事業

まちの課題の変化	<p>【達成されたこと】 「中心市街地における未整備箇所の整備」東海太田川駅周辺土地区画整理事業が着実に進捗しており、またそれに併せた公園整備や歩道整備等も進んだことで、中心市街地における利便性の向上が図られている。 「大田川と周辺公園・緑地等のネットワーク充実」公園整備事業、エコプロムナード整備事業の一部整備が進み、歩行空間や自転車ネットワークの形成が図られることで、健康づくり活動を支援する環境が充実し、市民の健康増進に寄与している。 「景観に配慮したまちの形成」駅周辺では、周辺道路の電線類地中化等により景観が改善されたり、広場空間の活用が進んでいるほか、住民との協働によるまちづくり活動が一層盛んになり、駅前におけるイベント開催やPR活動が充実してきており、市民の参加も増加した結果、にぎわい創出が図られている。</p> <p>【残された未解決の課題】 「中心市街地における未整備箇所の整備」太田川駅周辺の拠点性をさらに高めるため、駅を中心とした多様な都市機能の充実による利便性の向上とさらなるにぎわいの創出のため、駅の西側も含めた基盤整備の推進と東側の未整備箇所の整備が必要である。 「大田川と周辺公園・緑地等のネットワーク充実」人と環境にやさしい都市空間の形成のため、駅や身近なみどり等の資源をつなぎ、歩行空間や自転車ネットワークをさらに強化することが必要である。 「景観に配慮したまちの形成」持続可能なにぎわい創出に向け、太田川駅・尾張横須賀駅の双方の拠点性を高め、地域資源を活かした都市空間の魅力向上を図り、相乗効果から人の流れを創出することが求められる。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>【効果を持続させるために行う方策】 「中心市街地における未整備箇所の整備」都市計画道路、都市公園等の未整備箇所の整備を進め、都市基盤の充実を図る。 「大田川と周辺公園・緑地等のネットワーク充実」大田川周辺の緑のネットワーク形成事業を継続することにより、歩行者の利便性・まちの回遊性の向上を図り、市民の健康増進に寄与する都市空間の形成を図る。 「景観に配慮したまちの形成」引き続き、公園整備、電線類地中化事業を推進することにより、景観に配慮した都市空間の形成を図り、にぎわい創出を図る。</p> <p>【改善策】 「中心市街地における未整備箇所の整備」太田川駅周辺の拠点性をさらに高めるため、駅を中心とした一体的な都市基盤整備による多様な都市機能を充実させる。 「大田川と周辺公園・緑地等のネットワーク充実」大田川沿いのエコプロムナードの整備に加え、ポケットパークの整備等を行い、各駅の地区拠点を中心に歩行者の利便性・まちの回遊性の向上を図る。 「景観に配慮したまちの形成」持続可能なにぎわい創出に向け、太田川駅に加え、尾張横須賀駅を中心とした拠点形成と地域固有の歴史的資源の活用による魅力ある都市空間を形成する。</p>